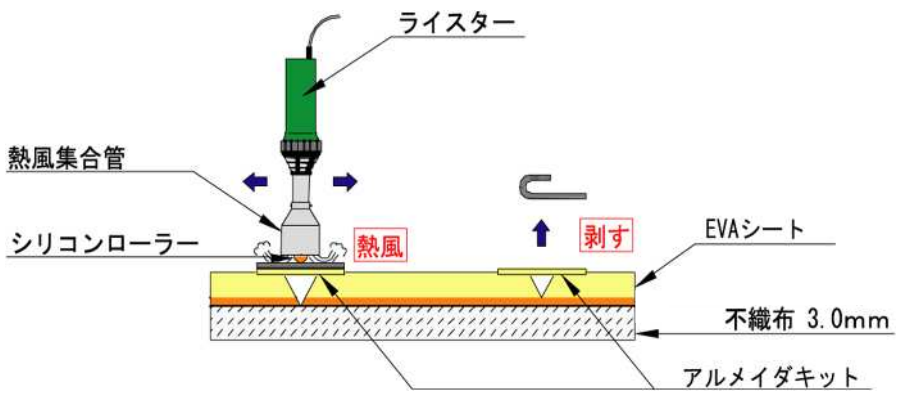
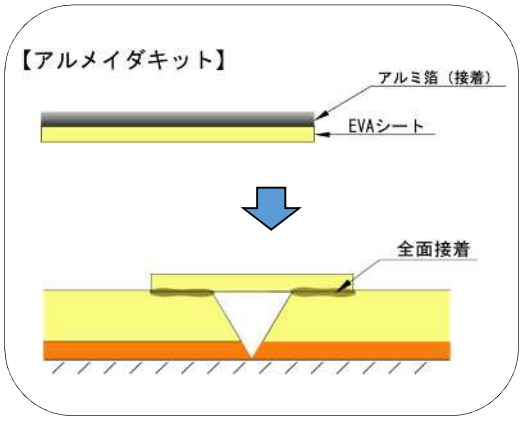
アルメイダキット

トンネル用防水シート補修キット

現状の「継はぎ」パッチから補修専用キットを使用する、簡単で確実な修復方法のご提案。

補修概要図





製品特徴

補修材が全面に接着するため、漏水リスクが低減でき確実な補修が実現できる。
作業員の熟練度への依存度が低く、補修精度のバラつきが少ない。

仕様

対象ＥＶＡ厚	シート厚	幅	長さ
0.8mm用	0.8mm	200mm	10m

※2.0mm 用については別途お問合せください。

補修方法

① 損傷部に補修材（アルメイダキット）を当て、特殊ライスター（ローラー付）を押しあて溶着する。

② アルミニウム泊を剥がし、補修完了。

※過剰な熱による防水シートの融解にご注意下さい。

※背面に不陸がある場合には、施工性が低下致します。

従来補修方法との比較

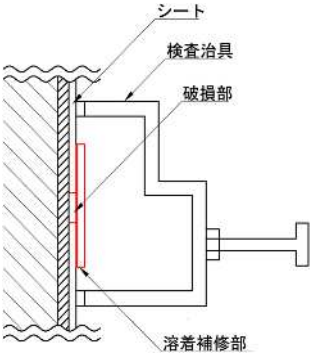
概要		防水シート余材を補修箇所に合わせた大きさに切り取り、手動式溶着機を用いて周辺部を溶着補修する方法。 	表面にアルミニウムを呈した専用の補修材（同質の防水シート＋アルミニウム）を補修箇所に合わせた大きさに切り取り、先端にローラー付きのアタッチメントを装着した手動式熱溶着機を用い溶着補修する方法。
作業時間		概ね50秒 ※1	約50秒 ※1
特徴	長所	従来の一般的な補修方法であり熟知された工法である。	補修材が防水シートの母材に全面接着するため、漏水リスクの低減が図れ確実な補修が実現できる。
	短所	作業員の熟練度に依存が高く、補修の完成度にバラつきが出やすい。 溶着面は線状のため、溶着不良箇所があった場合漏水の原因となりやすい。 鉄筋区間での作業は行いにくいため補修精度が低減する懸念がある。	アルミニウムで表面が覆われているため、溶着具合が確認しにくい。 溶着しすぎると防水シート母材を融解してしまう恐れがあり、ある程度の熟練度が必要である。 鉄筋区間での作業効率も良く補修精度のばらつきが少ない。

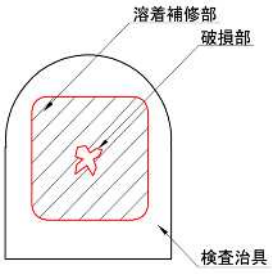
注釈）土木学会第 64 回年次学術講演会論文　防水シート損傷部の発

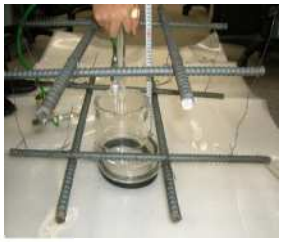
検査概要例（負圧試験機 MP-1）

従来のバケツ形状から長靴形状に改良した負圧試験機 MP-1。

特殊形状負圧試験機(MP-1)を使用することで、従来困難であった防水シート損傷頻度の高い鉄筋区間においても検査可能となり、アルメイダキットと併用することでより確実な補修・確認が可能となります。







【シングル鉄筋施工時の場合】【ダブル鉄筋施工時の場合】

fujimori
フジモリ産業株式会社
https://www.fujimori.co.jp/

東京　〒160-0023東京都新宿区西新宿 1-23-7（新宿ﾌｧｰｽﾄｳｴｽﾄ 10F）　TEL：03-5339-8531
大阪　〒541-0045大阪市中央区道修町 4-4-10（KDX 小林道修町ﾋﾞﾙ）　TEL：06-6228-3864
東北　〒980-0014仙台市青葉区本町 1-11-1（HF 仙台本町ﾋﾞﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ 7F）　TEL：022-263-1591
九州　〒812-0027福岡市博多区下川端町 10-5（博多麹屋番ﾋﾞﾙ）　TEL：092-262-8515